

## 『税金と私たちの関係』

宮代町立前原中学校 1年 大沢 綾子

私が、税金の使われ方について知っていたことは、公務員の給料や医療費、道路、マンホール、橋、信号、学校などでした。これらは自分がモノを購入したときに支払っている消費税でまかなわれていると思っていましたが、そんな単純なことではなく、税金には色々な種類があることが分かりました。そこで税金の種類について調べてみました。

まず、国の収入と支出について調べました。国の収入には、所得税、消費税、法人税などが主にあります。一方で国の支出には、社会保障、防衛関係費、公共事業などが主にあることが分かりました。

所得税とは、個人の所得にかかる税金のことで、会社で給料をもらっている人や自分で商売をして利益を得ている人にかかります。私は、今は所得税を納めていないけれど、今働いて所得税を納めている人のおかげで医療費や教育費がまかなわれているので、その人達に感謝したいと思います。

私は、小学四年生の頃に首都圏外郭放水路に社会科見学で行きました。そこは「彩龍の川」と呼ばれていて、二千三百億円かけてつくられました。その二千三百億円は、すべて税金でまかなわれました。その首都圏外郭放水路ができる前は、千九百四十七年九月のカスリーン台風で、大規模な洪水が起きました。死亡したのは約千百人、浸水した家は約三十万戸と記録されています。しかし、首都圏外郭放水路ができてからは、大きな洪水の被害が少なくなりました。私の家の近くにある電柱には、カスリーン台風の時の水位が書かれたテープがはられています。近年、ゲリラ豪雨などが多いため、首都圏外郭放水路があることで、とても安心できています。

私の住んでいる宮代町では、今年度に全ての小中学校でエアコンの設置が進んでいます。この財源は、7割が国からの地方交付税で措置されます。また、停電時に稼働できるように発電機も設置されます。これらにかかる費用は八億四千万円です。これらにより夏場の教育環境が改善されます。これまでは体育の授業でマット運動などに取り組んでいましたが、夏場は暑さで熱中症になる恐れがあることや、集中力が低下することで思った通りに体が動かないことがありました。しかし、これからはエアコンが設置されたので、自分の全力を出し切って授業に臨みたいです。

このように税金は私たちのために使われていて、とても助かっているなので、これからもそういうことに税金を使っていってほしいと思いました。